

第2学年 ESD 学級活動指導案

平成28年10月19日(水) 第6限

- 1 主 題 ふわふわドッジボール (2)ーウ 望ましい人間関係の形成
- 2 本時の目標
  - ・心が温まる言葉を進んで使うことで、みんなが気持ちよく生活できることを知る。
- 3 人権教育上の観点
  - ・教室の中だけでなく、実際に活動する場面でふわふわ言葉を使い、人と人のつながりを大切にさせ、酔いよく生きていこうとする実践的態度を育てたい。(視点⑧)
- 4 準備・資料
  - ・教師 ボール、ホワイトボード、マーカー
  - ・児童 体操服、赤白帽子
- 5 指導過程

段階 時間	学 習 活 動	・留意点 [支]支援 [人]人権教育的配慮 評価
つかむ 8分	1 整列をし、準備体操をする。  2 ふわふわ言葉、ちくちく言葉について思い出し、ルールを確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ふわふわドッジボールをしよう</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・服装や姿勢を確認する。</li> <li>・体を大きく使って、準備運動をさせる。</li> <li>・ペアでの準備運動もさせ、アイスブレイキングを行う。</li> <li>・どんな言葉がふわふわ言葉、ちくちく言葉なのかを挙げさせる。</li> <li>・実際の生活で使えているか発表させる。</li> </ul>
考える 30分	3 ふわふわ言葉をつかったドッジボールをする。 (1) 男子が行う。 (2) 聞こえてきたふわふわ言葉を教え合う。 (3) 女子が行う。 (4) 聞こえてきたふわふわ言葉を教え合う。 <b>〈認識の高まり場面1〉</b> <b>思考法：焦点化する</b> 4 全員でドッジボールをする。 (1) ドッジボールを行う。 (2) 聞こえてきたふわふわ言葉を教え合う。 <b>〈認識の高まり場面2〉</b> <b>思考法：焦点化を強化する</b> 5 ふわふわ言葉がいっぱいとどんな気持ちになるか考える。 <b>〈認識の高まり場面3〉</b> <b>思考法：関連づける</b>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・良い言葉がけが聞こえてきたらその言葉を取りあげて賞賛し、児童にも気付かせる。</li> <li>・教え合う場面では、どんな気持ちになったかも考えさせる。</li> <li>・見ている人がどう感じたかも考えさせる。</li> <li>・ドッジボールの中で使われたふわふわ言葉をホワイトボードに記入する。</li> </ul> </div> <p>[人] ちくちく言葉を言ってしまう児童には、どんな気持ちで言ってしまったかを考えさせ、よりよい言葉をみんなと一緒に考える。</p> <p>[支] 勝敗にこだわる児童には、がんばる気持ちを高める大切さを考えさせる。</p> <p>・勝ったチーム、負けたチームにどんな言葉をかけるとよいか考えさせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                     心温まる言葉を進んで使い、よりよい人間関係をつくっていかしている。                      (方法) 発表、行動                 </div>
7分 振り返る	6 教師の考えや願いを聞き、授業の内容を振り返る。 7 整理体操とあいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りを発表させ、思いを共有させる。</li> <li>・けがの有無を確認する。</li> </ul>

- 6 事後の指導
  - ・休み時間や学習時間にふわふわ言葉をつかえているか観察、確認をし、より良い言葉がけに触れる。
- 7 反 省
- 8 高 評